



前川 留寿さん(左)
国際社会学部 西南ヨーロッパ第2地域3年生
マスコミ報道以上のこととはなかなか知る機会がないラテンアメリカについて、自分で調べ、他の人の発表を聞くことで、深く知ることができておもしろいです。先生が論文を書く際の注意点をさらりと散りばめてくれるのも、とても参考になります。

学生に聞きました!
講義・大学・将来の夢



東京外国語大学

<http://www.tufs.ac.jp/>
〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1
東京外国語大学 戰略支援室
TEL:042-330-5158

言語文化学部
国際社会学部

[沿革・歴史]

起源は江戸幕府により1857年に開校された蕃書調所。日本の近代教育の黎明期につくられ、糾余曲折を経て、現在、東京大学・一橋大学などになつていった明治時代の諸教育機関と共に根をもつ。1869年英・仏語の2学科の「開成学校」(現、東京大学)、1873年東京外国語学校(5語学科)、1897年高等商業学校附属外国語学校、1899年東京外国語学校、1949年、新制大学として発足(12学科)。学部のほかに、博士課程を持つ大学院地域文化研究科、全国共同利用研究所であるアジア・アフリカ言語文化研究所、教育関係共同利用拠点である留学生日本語教育センターからなる大学へと発展。2000年府中市の現キャンパスに移転。2012年には学部改組が行われ、言語文化学部と国際社会学部という2つの学部が開設された。

イベント情報

- オープンキャンパス
- ◆7月10日(日)
- ◆11月19日(土)

詳細・その他イベントはHPをご確認ください。
[URL <http://www.tufs.ac.jp/admission/opencampus/>](http://www.tufs.ac.jp/admission/opencampus/)

事前申し込みが必要な場合があります。ご注意ください。

取材担当記者より
東京外国語大学、
こんな大学でした!

図書館、カフェ、あらゆる所で多くの学生が勉強している…全体の13%もいる外国人留学生が、豊かな緑、そして光の差し込む巨大な吹き抜けの校舎、これらすべてが世界へ羽ばたく学生たちの志を一段と高め、夢の実現をあと押ししてくれているようでした。



先生のご紹介

宮地 隆廣先生

2005年、東京大学大学院総合文化研究科修士課程修了。2011年、東京大学大学院総合文化研究科博士課程修了。ボリビアとエクアドルにて研究に従事した後、2014年より現職。東京外国語大学大学院総合国際学研究院准教授。専門は比較政治学、ラテンアメリカの政治と開発。日本ラテンアメリカ学会、Latin American Studies Association(LASA)などの学会に所属。



東京外国語大学 国際社会学部 国際社会学科

5.20.Fri. at Fuchu
14:20~15:50

本日の講義 アメリカ地域研究A(専門演習) メキシコ麻薬戦争

講義の流れ 現在、メキシコで社会問題となっている「麻薬戦争」について、テキストを精読する。

醍醐味 メキシコの麻薬戦争について、基本的知識を理解して説明できるようになり、麻薬をめぐる社会分析に対して批判的な検討ができるようになる。

解釈の可能性を広く持ち 世界へ向かう!

学生による発表と考

察は続いている。テキス

比較など、さまざまな統計を使って発表していく。宮地先生は、学生たちが調べてきた内容が根拠に裏づけされたものかどうか、信頼に値する情報か、一つひとつ丁寧に確認していく。「社会に出てからデータを用い

て他人に説得できること

は、大きな力になります。

この講義はそのためのト

レーニングの一つ。根拠

を調べ、明確に自分の意

見を言えることが大学で

の勉強」と、先生は言う。

トとなる『メキシコ麻薬戦争』には、この麻薬戦争で多くの人が亡くなつたと書いてあるが、ほかの国と比較するとどうなのか。国連が調査した犯罪統計の数字を見ると、確かにメキシコの殺人件数は先進国に比べて多い。ただし、ラテンアメリカ諸国で比較すると中間くらいの数だ。メキシコよりも殺人が多くのが起つてゐる国もある。

では、ヒットマンはいくらでしたか?」すぐに別の学生が質問を投げかけた。日本だと手付金100~500万、成功報酬400万~1億円に対し、メキシコでは月給制で、なんと月に1万ペソ(約6万円)程度だそうだ。そこで宮地先生が補足を加える。「賃金は需要と供給で決ま

調べてきたことは 他人を説得できるだけのものか?

「では、ヒットマンはいくらでしたか?」すぐに別の学生が質問を投げかけた。日本だと手付金100~500万、成功報酬400万~1億円に対し、メキシコでは月給制で、なんと月に1万ペソ(約6万円)程度だそうだ。そこで宮地先生が補足を加える。「賃金は需要と供給で決まります。誰でもやれて仕事が奪い合いの状況であれば、賃金は下がります。逆にやれる人が少ない場合は上がりります」低い報酬は仕事の需要以上に就きたい人が多いこと意味し、それはメキシコの深刻な貧困や高い失業率の表れなのである。金額ではないのです

調べても情報が出ています。誰でもやれて仕事が奪い合いの状況であれば、賃金は下がります。逆にやれる人が少ない場合は上がりります」低い報酬は仕事の需要以上に就きたい人が多いこと意味し、それはメキシコの深刻な貧困や高い失業率の表れなのである。金額ではないのです

調べても情報が出ています。誰でもやれて仕事が奪い合いの状況であれば、賃金は下がります。逆にやれる人が少ない場合は上がりります」低い報酬は仕事の需要以上に就きたい人が多いこと意味し、それはメキシコの深刻な貧困や高い失業率の表れなのである。金額ではないのです